

高性能林業機械の 基本操作研修会を 開催しました

1 はじめに

岩手県林業技術センターでは、県内の林業関係学科で学ぶ高校生を対象として、林業の機械化について学習・体験する「高性能林業機械基本操作研修会」を毎年開催しています。今年も7月31日に開催したので、参加した生徒の感想を中心に紹介します。

2 高性能林業機械基本操作研修会

当日は、盛岡農業高等学校21名、久慈東高等学校14名が来所しました。生徒たちは、森林・林業や高性能林業機械に関する室内講義を受けた後、敷地内の機械研修コースに移動して、機械の操作を体験しました。講師は機械メーカーの指導担当者や林業技術センターの職員が務めました。

今回使用した機械は、プロセッサ、不整地運搬車、フォワーダの3種類です。プロセッサでは、丸太



講師の説明に集中する生徒 (プロセッサ)



そこを右、次は左、なかなか上手です (不整地運搬車)



だいふ慣れてきた！ (フォワーダ)

の移動、材送り、切断などの操作を行いました。不整地運搬車では、場内のコースを走行しました。フォワーダでは、地面に置いてある丸太を掴み一度荷代に載せてから再び降ろすなど、基本的な操作に取り組みました。

3 研修の感想

最初は、初めての機械操作に戸惑っていましたが、講師の指導を受けながら操作を続けるうちに慣れたようで、最後は皆が見事に乗りこなしていました。中には、「もう一度やりたい。」と再挑戦する生徒も。研修終了後には、「操作が楽しかった。」「思ったより簡単だった。」「全ての機械が初体験。学校ではできない貴重な授業だと思う。見た目は難しそうだが、講師の方々が丁寧に指導してくださったこともあり、実際に体験してみたらそれ程難しいとは感じなかった。」

4 おわりに

今回の研修を通じて、少しでも多くの高校生が林業に興味を持ち、将来の林業を担ってくれることを期待します。参加された高校生の皆さん、担任の先生方、大変お疲れさまでした。林業技術センター普及班

019(698)1337

☆ 今月の表紙の写真 ☆

林業技術センター

(タイトル)

「上手にできたでしょ？」

(コメント)

去る平成25年10月5日、岩手県林業技術センターの一般公開を行いました。200名を超える来場があり、林業技術センターの研究成果の紹介のほか、木工教室、しいたけ植菌、ヤマブドウの収穫など様々な体験を楽しんでいただきました。

子供たちも、アカマツの経木を使った「木の花コサージュ」、松ぼっくりを使った「クリスマスツリー」など、上手に作品を仕上げていました！

